

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro新吉田		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/18		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	メンバーの知識の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・会社で実施されている研修だけでなく、教室個別としても研修を実施しメンバーの知識の底上げをしている。 ・毎日のミーティング時に児童共有しているがABA手法をとっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修も積極的に活用していきたい
2	イベント内容の充実と専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの目的(ゴール)を毎回立て、メンバーが一致した支援ができるようにしている ・1つのイベントでもブースを分けたり難易度を分けたりして全児童に合い参加できるものを用意している ・毎日終礼としてイベントの振り返りを実施し次につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフだけでなく子どもたちの「これやってみたい」も積極的に取り入れていく
3	メンバーの勤続年数の長期化。児童との信頼関係も強化される。	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーも楽しいと思えるイベントづくり ・改善したいことなどあれば意見がしやすいよう笑顔での会話が起ころ環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員が増員されればメンバー負荷軽減が可能になる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりの少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策もあり地域に向けた取り組みができていない状況であった ・周囲にどういったコミュニティがあり、どう参加できるかの検討が足りていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催されている行事等の把握 ・利用家庭以外の方も参加できるイベントの検討
2	保護者会開催の少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策で開けていなかった。今期やっと1度開催することができた状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催 ・保護者からニーズの聞き取り
3	事業で取り組んでいる内容の発信の理解が広まっていない	<ul style="list-style-type: none"> ・預かりではなく専門的に実施している内容を毎月のtoiro通信や日々の連絡帳記載で理解してもらっているつもりだったが、届ききれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載内容や発信方法の変更

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスtoiro新吉田				公表日	2025年3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	1	業界的に人員が少ない中で退職等がなく、ギリギリではあるが保っていると思う。	人員が不足していると感じる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	0	入ってはいけないスペースを「×」印を使ってわかりやすくしている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	0	毎日掃除している。活動別でスペースを作って区切りを空間内に生み出している。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	0	パニックになった児童へ対応できるエリアがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	月の目標や評価を出して振り返りや評価でやるべきことが可視化されている。リーダーを決め全ての業務を全体の連絡網で共有することで全員でPDCAサイクルをスムーズにできるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝のミーティングや振り返りで支援のことや、個人評価で面談として意見をいうことができている。朝礼で児童の様子を共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	監査など。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	会社としての研修だけでなく、教室内でも月1回研修を実施している。定期的に研修がある。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	ABAを行い適切な支援をするようにしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管が積極的に一般スタッフに日ごろの様子を聞いている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	毎回記録をしており、スタッフが確認することで計画に沿った支援をしている。作成時だけでなく当日来る児童の支援目標は何かを各スタッフが確認してその日の支援にあたっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	ケア記録やABA記録をつけ、その内容を確認できるようになっている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎日のイベントはアイデアを出し合ったり相談したりしてチームとして行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月のイベント表を保存し、重ならないよう確認しながら組んでいる。 児童のやりたいことを提案してもらい可能な限り取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝ミーティングで児童にどう支援するかを話し合う時間を30分設けている。 朝礼時に児童の様子を話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	集団活動イベントの振り返りを実施している。 スタッフ間で共有してより良い支援に繋がっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々ケア記録を必ず入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	スタッフ同士だけでなく保護者にも面談等行い見直しをすることで次の支援へ進めることができている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	イベント中や遊びの中で子どもたちややりたいことを選択できるように口頭もしくは絵・写真を用いて確認できている。 時には児童を中心に集団活動イベントをくみ上げていている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校へケース会議を申込実施している。リハセンターへのリハビリ見学等も行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	送迎時間の遅延がある場合には必ず学校へ連絡している。下校時刻や行事は利用児童のおたよりをコピーさせていただき把握している。偏食の子に関しては給食で食べた量を日々伺い、教室で補食を与えるか検討できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	必要があれば以前利用していた場所からの申し送りや検査結果等を共有してもらっている。	行いたいのが現状新規児童がいない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	今後増える予定。	移行した児童が近々でないため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	リハセンターとは連携できている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	近所の公園に行った際に地域の児童も関わり遊ぶことがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	開催があれば参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者会を12月に開催し、療育の狙いを含めたイベント紹介・体験や、ペアレントトレーニングを実施した。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	2024年12月保護者会・親子忘年会を実施し保護者同士の交流の機会を設けた。（兄弟含めた家族誰でも参加可能）	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	視覚的にわかるイラストでイベントカレンダーを用意する、必要があれば自宅で使用できるスケジュール表や絵カードを教室で作成し保護者に渡している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		感染症等の配慮をした上で今後開催できたらと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	一覧の児童表で見えるところに掲示して共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	一覧の児童表で見えるところに掲示して共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを各自記入し共有している。記入・確認を陽の目標としている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎月研修を30分行っている。		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	保護者に説明した上で同意書をもらっている。	
----	----------------------------------------------------------------------------------	---	---	-----------------------	--